



大規模災害に備えて

平成 23 年度松前町総合防災訓練

松前町総合防災訓練は9月4日、松前公園多目的広場で実施され、防災関係機関と住民ら約800人が参加しました。

午前8時から行われた訓練は、四国沖を震源とする震度6弱の地震が発生し、家屋倒壊や火災などでライフラインが寸断されたという想定で実施されました。参加者はまず、各地区で指定避難所への避難訓練を実施した後、松前公園に集合。松前公園では、バケツリレーによる初期消火訓練、倒壊家屋の下敷きになった被災者の救出訓練、応急救護訓練などに熱心に取り組みました。

訓練を終えて白石勝也町長は「大規模災害に備え、町は公の施設の耐震化工事、大規模改修を進めている。でも一番大事なのは、自分の命は自分で守ること。日頃から災害に備えてほしい」と呼び掛けました。

訓練に続き、松前公園体育館では防災フェアが開催され、防災に関する展示・体験コーナーのほか、防災に関するクイズなどが行われました。この防災訓練と防災フェアを通じて、子どもから大人まで幅広い世代の人が、防災意識を高めていました。



①初期消火訓練の様子 ②救出訓練に取り組む消防団 ③防災クイズにはたくさんの子もたちが参加



④(株)カネシロで古紙のリサイクル工程を見学 ⑤(株)帝松サービス ⑥松山容器(株)で説明を熱心に聞く参加者



子どもたちがリサイクル施設を探検

夏休み3R探検隊

家庭から出るごみの行方を追いかけて、分別、リサイクル、埋立を行う施設を見学する「夏休み3R探検隊」は8月8日、町内小・中学生と保護者を対象に行われ、28組の親子が参加しました。

松山容器(株)では、缶、びん、金属、ペットボトルなどを分別する様子を見学。参加者一同、手作業での分別や臭いに驚いていました。帝人松山事業所内にある(株)帝松サービスでは、ペットボトルのリサイクル工程を見学し、参加者はペットボトルのリサイクル製品に関心を集めていました。松山市にある(株)カネシロでは、古紙のリサイクル工程について見学。古紙塊1トンもあり、それが再生紙になると説明を受けました。東温市にあるオオノ開発(株)では、埋立を行う最終処分場と焼却・発電プラントを見学。施設の大きさと、環境のことを考えた会社であることにみんな驚いていました。



愛称名が「想い通り」に決定

町道筒井徳丸線

道路に親んでもらおうと、町道筒井徳丸線の全面開通に合わせて愛称名を公募したところ、7月8日から31日までに、町内外から424点の応募がありました。

応募作品は、町長、副町長、教育長と若手職員17人の選考委員によって審査。松山市の菅良子さんの「想い通り」に決定しました。菅さん「前向きに想い描く気持ちを持つことで、この道路を通る人たちのいろいろなことが上手いきますように、松前町が発展しますようにという願い込めて考えました。選んでいただき光栄です」と話していました。今後、町民の皆さんや松前町を訪れる皆さんに親んでもらうため、愛称板を設置します。



菅 良子さん



新農業委員 21人が決まる

会長に大西珍夫氏を互選

任期満了に伴う松前町農業委員の改選で、7月20日からの3年間、農家と農業を守る農業委員が決まりました。委員は選挙で選出された16人と、農業団体、町議会から推薦、選任された5人の合わせて21人です。

会長には大西珍夫氏が、会長職務代理には仙波俊彦氏が選出されました。

選挙による委員

- 上田 陽一 (南黒田)
- 田中 昭雄 (北黒田)
- 黒田直三郎 (宗意原・新立・本村)
- 仙波 俊彦 (筒井)
- 弓立 達夫 (徳丸)
- 加藤 監一 (中川原)
- 大西 珍夫 (作出)
- 高石 健一 (神崎)
- 済川 利和 (鶴吉)
- 町田 始 (横田・大溝)
- 三好 充 (永田・東古泉)
- 大政 一夫 (大間・上高柳)
- 池内 靖 (恵久美)
- 重川 唯男 (昌農内・西高柳)
- 河内 豊和 (西古泉・塩屋)
- 大川 助俊 (北川原)



会長 大西珍夫氏



会長職務代理 仙波俊彦氏

選任による委員

- 田村 勝希 (松山市農業共同組合)
- 日野 榮藏 (伊予喜多農業共済組合)
- 松田 清太郎 (土地改良区)
- 久津那妙子 (町議会)
- 篠原 律子 (町議会)



24時間熱戦を展開

24時間チャリティスポーツカーニバル MASAKI

松前町体育協会主催の24時間チャリティスポーツカーニバル MASAKIは8月20、21の両日、松前公園で開催されました。日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して毎年行われているもので、ジョギングやソフトボールなど合計15種目が行われ、約1,400人がスポーツなどを楽しみました。集まった募金21万8,194円は24時間テレビへ寄附されました。



24地区の自主防災組織が1つに

松前町自主防災連合会設立

大規模災害に備えようと、24地区の自主防災組織は8月30日、連合会を設立しました。町役場で行われた総会には各組織代表や町、消防職員ら30人が出席。会長に大溝自主防災会の西村榮造さんを選び、組織を越えて協力することを決めました。白石勝也町長は「今後は知恵、意見を出し合い、連合会で地区を越え対策を立ててほしい」と述べました。